

様式第3号

会 議 録

会 議 名 (審議会等名)	平成23年度 第5回 川西市社会教育委員の会		
事 務 局 (担 当 課)	教育振興部 社会教育室 (内線 3421)		
開 催 日 時	平成23年10月26日(水) 9時58分～11時55分		
開 催 場 所	市庁舎 202会議室		
出 席 者	委 員	生田議長、佐道副議長、小柳委員、渡邊委員、岡田委員、 田中委員、岸本委員 計 7名	
	そ の 他		
	事 務 局	牛尾教育振興部長、中塚総務調整室長、石田学校教育室長 松田教育支援室長、谷社会教育室長、古川中央図書館長、 渡瀬中央公民館長、宮脇生涯学習センター所長、 高橋中央公民館主幹、岡野社会教育室主幹、 山元こども・若者政策課長、金淵こども・若者政策課主幹 片山主任、野原郷土館館長、藤巴主事 計15名	
傍聴の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可・不可・一部不可	傍聴者数	0名
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会 議 次 第	1. 開会 2. 前回会議録の承認 3. 報告事項 (1)全国社会教育研究大会について (2)阪神北地区社会教育委員協議会第1回研修会について (3)阪神北地区社会教育委員協議会第3回理事会について (4)各協議会の会議報告について (5)その他 4. 議題 (1)平成23年度年間研究テーマ「学校・地域・家庭をつなぐ社会教育のあり方」について (2)その他 5. その他		
会議結果	別紙のとおり		

議長

皆さん、おはようございます。
 本日は、お忙しいところ、ご出席いただきありがとうございます。
 ただ今から、第5回の社会教育委員の会を開会いたします。
 まずはじめに、本日の委員の出欠についてであります。末澤委員さん、安藤委員さん、上西委員さんからご欠席の連絡をいただいております。他の委員さんは全員ご出席であります。
 また、本日は、郷土館の館長にもご出席いただいております。よろしくお願いたします。
 それでは、会議に入りたいと思います。
 まず、事務局からご挨拶をいただきたいと思います。

教育振興部長からあいさつを兼ねて、「花ばたけ」、「笑顔ときめき」、「青少年センターだより」、「川西市公開事業レビュー」、「兵庫県教育新聞」等により、下記の内容等についての説明がなされた

- ・平成19年度からの川西の教育の施政方針（教育関連部門）及びその取組みについて
- ・平成23年度の教育関連の施政方針と社会教育施設関係の事業進捗状況について
- ・「きんたくんの学びの道場」について
- ・食育 - 食育推進計画や食育推進委員会について
- ・教科担任制を5・6年生に導入について
- ・3歳児保育へ向けての施設の整備について
- ・米飯給食の完全実施について
- ・公開事業レビュー（教育委員会関係 = 小学校の英語教育のあり方、成人式や生涯学習短期大学のあり方、郷土館・文化財資料館等の有効活用）について

議長

どうも、ありがとうございました。
 それでは、こども部からもお見えになっておりますので、よろしくお願いたします。

こども部こども・若者政策課長よりあいさつを兼ねて、
 下記の内容等についての説明がなされた

- ・「青少年ふれあいデイ」の11月の強化月間の取組みについて
- ・11月の「児童虐待防止推進月間」の取組みについて

議長

ありがとうございました。
 それでは、2番目の「前回会議録の承認」についてであります。
 事務局で調製し、その写しをお手元の方に配付しておりますので事務局

<p>事務局</p>	<p>から説明をお願いします。</p> <p>それでは、8月24日に開催されました第4回の会議録についてご説明申し上げます。お手元の会議録の写しをご覧いただきたいと存じます。</p> <p>会議録につきましては、前回までと同様、1頁目には会議日程や出席委員などを記載いたしております。また、2頁以降につきましては、会議次第にもとづきご協議いただきました経過等について調製させていただいております。よろしく願いいたします。</p>
<p>議長</p>	<p>説明は終わりました。</p> <p>ただ今のご説明について、何かご質問等はございませんか。</p> <p style="text-align: center;">(発言なし)</p>
<p>議長</p>	<p>特に、ご質問もないようですので、前回の会議録はご承認いただいたものいたします。</p>
<p>議長</p>	<p>次に、3番目の報告事項に入らせていただきます。</p> <p>公民館の部分も5番目のところに入れさせていただきます。その他を含めてですけど、いろいろとこの1ヶ月の間、数多くの会議がございましたので、報告を求めたいと思います。</p> <p>まず、はじめに、全国の社会教育研究大会でございます。お手元の方に事務局から、資料が配布されていると思います。</p> <p>今回の全国大会は、9月21日、22日に京都市を中心に、宇治市、亀岡市、長岡京市において、全体会及び五つの分科会が開催され、近畿大会も兼ねて開催されたところでございます。大会には、I委員さん、A委員さん、E委員さん、そして私の方で出席させていただきました。分科会が五つ設けられ、それぞれ分かれて参加いたしました。</p> <p style="text-align: center;">議長から、テーマ等の概略等の説明の後、全国社会教育研究大会の全体会並びに分科会について、出席された委員からそれぞれ詳細な報告がなされ、各自の感想などが述べられた。</p> <p style="text-align: center;">全体会 9月21日 京都市</p> <p style="text-align: center;">分科会 9月22日 宇治市・亀岡市・長岡京市</p>
<p>議長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>ただ今の報告について、何かご質問はございませんか。</p> <p style="text-align: center;">(発言なし)</p>
<p>議長</p>	<p>なお、資料等については、我々、出席した委員も持っていますし、また事務局にも預けたりもしますし、付属資料も、事務局の方にお預けしてお</p>

<p>議長</p>	<p>きますので、公民館活動やら、グループ活動に活用していただきたらと思 います。</p> <p>次に、報告事項の2、阪神北地区社会教育委員協議会の第1回研修会に ついてであります。</p> <p>お手元に研修会の資料の写しをお配りしております。</p> <p>この阪神北地区の第1回研修会は、9月29日に開催され、池田市の池 田中学校の学校支援地域本部事業についての説明を受け、併せて、現地の 研修を行ったところでございます。研修会には、I委員さん、D委員さ ん、E委員さん、F委員と私が出席し、事務局からは部長、室長が出席さ れております。</p> <p>議長から、資料等にもとづき池田中学校で実践されている 学校支援地域本部事業である「池中MTP（マイ・タウン・プロジェ クト）」についての報告がなされ、出席した各委員からそれぞれ 報告やら、感想が述べられた</p>
<p>議長</p>	<p>ただ今の報告について、何かご質問等はございませんか。</p> <p>(発言なし)</p>
<p>議長</p>	<p>特に、ご質問がないようでございますので次に移らせていただきます。</p> <p>次に、報告事項の3、阪神北地区の第3回理事会についてであります。</p> <p>お手元に理事会の資料の写しをお配りしております。</p> <p>この第3回理事会につきましては、10月12日に三田市役所で開催さ れまして、私が出席しておりますので、私の方からご報告いたします。</p> <p>議長より、資料にもとづき下記のような内容で報告がなされた</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2回研修会の日程、内容、会場等について ・11月15日に開催される兵庫県社会教育研究大会の役割 分担について（川西市は総合司会） ・第4回理事会の開催について ・平成25年度兵庫県社会教育研究大会の開催地について ・各市町との情報・意見交換を行った
<p>議長</p>	<p>ただ今の報告について、何かご質問等はございませんか。</p> <p>(発言なし)</p>
<p>議長</p>	<p>特に、ご質問がないようですので、次に移ります。</p> <p>次に、報告事項の4、各協議会の会議報告についてであります。</p> <p>各委員さんの方でございましたらお願いいたします。</p>

	<p style="text-align: center;">(発言なし)</p> <p>議長 特に、ご発言がないようですので、次に移らせていただきます。 次に、報告事項の5、その他についてであります。公民館事業等について、ご報告等の申し出がありますので、よろしくお願いたします。</p> <p style="text-align: center;">中央公民館長及び主幹から、資料「平成23年度公民館講座(後期)」等により、下記の内容等について案内と報告がなされた</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内公民館の文化祭の案内について ・平成23年度後期の公民館講座の案内について
	<p>議長 ありがとうございました。 その他、委員さんの方で報告等はございませんでしょうか。 自分が担当している部分やら、会議等がございましたら、お願いたします。</p> <p style="text-align: center;">F委員から、資料にもとづき、下記の内容についての報告がなされた</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨日、学校支援地域本部事業で主に学校ボランティアを対象にした講演会を実施したことが報告された。講師は、レフネック学長の木津川計先生で、演題は「優しさとしての文化」。 ・「かぼちゃ通信」及びかぼちゃルームについての説明があった。
	<p>議長 それでは、次に、議題の方に入りたいと思います。 会議は、今日と残り3回ございます。1月の会議については教育委員さんとの交流がございますので、会議時間は1時間程しかございません。そして、2月の会議で、一応、本年度終わりますので、まとめて教育委員会の方へ報告といいますが、意見表明のような感じをさせていただきたいと思っております。今後の流れは、そういう形でございます。</p> <p>それで、読んでいただいて分かりますように、だいたいこの会で何の話をしてるのかなということで、最後はまとまるとはいくんですけど、最初の、やっぱり、テーマを常に反復しながらいかないといかないかなというように思っております。学校と地域と家庭をつなぐ社会教育のあり方、非常に総括的なテーマです。どこの市を見てもそうなんですけど、今年は、特に社会教育施設ラインを中心にしながら、学校、子どもとの、地域とのつながりという視点で論議をさせていただいております。</p> <p>前回の会議録を見ていきますと、やはり情報発信的なことと、具体的にそれぞれの館等について、我々、委員の会、それぞれの委員さんが持って</p>

事務局

いらっしゃる疑問点、発想、指摘、提言、それぞれこの会を出していくことが、教育委員会あるいは市長部局の取り組みの中に参考になっていくんじゃないかという位置づけで、各委員さんに論じていただいたらありがたいなと思います。前々回は郷土館の方で開催させていただきました。あるいは、一昨年は、阪神北の総会を郷土館の方でさせていただいたりもしながら、今日は館長にも来ていただいております。前回の終わりの所で、郷土館、具体的な形で、各委員さんからご発言をいただいております。厳しい指摘やら、ここをこうしたらどうなのかなというようなこと、あるいは事務局の方から阪神間の各社会教育施設、文化財がらみのところもあつたりもしますが、それらの一覧表をいただいております。

そうしますと、まず、室長の方から、簡単に、総括的に、前回は議事録の中に述べられておりますけれど、抱えていらっしゃる思い、この前の公開事業レビューの資料もいただいております、公開事業レビューで具体的に生涯学習センターのお話、あるいは郷土館のお話等々も指摘をされて、日曜日にご活躍されていらっしゃいますので、そこらへんのエキスの部分だけで構いませんので、お願いできますでしょうか。

川西市の文化財施設というのは、ご存じのように、文化財資料館と郷土館と歴史民俗資料館がありまして、それを出来るだけ多くの方に来ていただいて活性化していこうというのが一つの大きな目的がございまして、レビューでも大学の教授とか、一般公募の市民の方からご意見をいただいたところなんですけど、個々、具体的に、これといったきちとした意見を期待していたんですけど、そういうのはなかったところがございます。前回、いろいろ議論いただいたことと、ほぼ同じような内容で、一ついただいたのが、歴史民俗資料館とか、文化財資料館が市民にあまり知られてないから、名称がちょっと分かりにくいので愛称を募集したらどうですかとか、例えば、先程、言われたようにスタンプラリーをされて、そういう館に行くようなイベントを市内部の各組織と連携、共同して実施されたいかがですかとか、あと財政的な問題があるんですけども、歴史民俗資料館を郷土館の方へ移設するなり、また大型の観光バスが停まれるようにして、黒川、日本一の里山へ見学に行かれる小学校の方に立ち寄っていただいて、見学する機会を設けたらどうかというようなご意見をいただきました。

折角の資源、立派なものがございますので、積極的なPR、ホームページをおっしゃってたところもあるんですけど、なかなか、まだ、そこまで出来る環境が整っていないのが川西の現状です。そういうのを、まず、整えて、PRしていきたいなと思っております。

この三館についての公開事業レビューはそういうところです。

ただ一つ、課題として思っておりますのは文化財施設ですので、国登録重要文化財というのがあるので、何でもオーケーですよと、それと社会教育室が担当している文化、伝統とかを保存・継続していくうえでの目的をきちとしないと、イベントをする担当課でもございませんので、何かそ

議長	<p>のへんをきちっと位置づけをして、事業をやっていきいたいなと思っております。</p> <p>委員の皆さんのご意見はほとんど出尽くしたなと私としては思っております。それを、今日まとめられたらいいんですけど、今日はちょっと無理だと思っております。いま、事務局の発言にありましたように、前回、委員さんの発言にありましたように、郷土館は一体どういう目的、位置づけだったんやろうかなというところに立ち返りまして。そして、文化財がらみの話もあったんですけど、郷土館は、どういう位置づけでしょうか。</p>
事務局	<p>北陵にあります茅葺の江戸時代の民家につきましては、県指定有形文化財、郷土館の旧平安邸と旧平賀邸については国登録重要文化財、加茂の文化財資料館は、埋蔵文化財、発掘した文化財を整理する施設として補助金を受けております。</p>
E委員	<p>現場に、何か書いてありますか。建物に書いてありますか。</p>
事務局	<p>看板を置いております。</p>
B委員	<p>いま、委員がおっしゃっておられるように、案内図とか、案内看板がものすごく見づらい。誘導していくような形態になっていない。施設に対して。だから、そういう看板を設置するにしても目的をはっきりさせた中で誘導型にするのか、設置個所はどこにするのかいろいろの方法はあろうかと思っておりますけど、何か中途半端で、委員が言われるようにもう一つすっきりしない。</p> <p>だから、立派なもんであっても、やはりたくさん見てもらってはじめて価値が分かってくるんだから、努力しなくてはならないと思いますけど。</p>
議長	<p>G委員さん、学校の近くなんですけど、子どもの認識なんかどうでしょうか。近くに、こんな施設があるという認識はどうでしょうか。</p>
G委員	<p>子どもはほとんど認識していないんじゃないかと思いますね。話題に出たことがないですから。</p>
F委員	<p>私も、生まれも育ちも川西ですつといたんですが、一昨年にはじめて図書ボランティアの関係で、読み聞かせの会があるということで、はじめて伺ったくらいで、何か、自分に興味のあることをそこでイベントをされたから、その会に行くので、はじめて郷土館を知ったという感じで、郷土館というのは耳にしたことはありますが、特に、興味を持つこともなく、行ってみたいとも思わなかったんです。だから、もっと皆さんに知っていただくには郷土館をアピールするのも大切なんですけど、何か興味のあるものと組み合わせ、一度に皆さんに知らせるのはなかなか難しいと思います</p>

議長	<p>が、若いお母さん方に向けての何かの会をそこですとか、そして、こういう所があったんだと分かっていたとか、年配の方で、お琴とか、そういう会を開いて、聞きに行かれて、こういう所があるんだと知ってもらうとか、そういう感じで、何かと組み合わせて郷土館をアピールしていかないと、なかなか、郷土館の看板がボーンとあっても、郷土館自身に興味があれば身に入らないし、右から左に抜けてしまうような気がするので、やっぱり、もっと有効利用をされたらいいんじゃないかなと、以前にもそういうことを言いましたけれども、もっと広まっていくんじゃないかと私は思いました。</p> <p>本日は館長さんもお出席いただいております。館長さんは、かつては社会教育委員でいらっしゃったんで、違った角度から、また、生まれも育ちも現在も東谷の地のご出身ですので、自分の故郷に再び着任されて、違った視点で見られていかがでしょうか。</p>
事務局	<p>自分は気楽な立場やと思って話します。最初、教育長の方から「お前、郷土館に行くんや。活性化を頼む。」ということで着任に際して言われ、この前、「半年経ってどうや」と聞かれたんですけど。</p> <p>確かに、施設としては非常に素晴らしい施設だなと痛感します。大学の先生が来られて、こんな良いのを、もっと、アピールをなぜしないのかということ言われます。アピールをしていかないかなということ。半年経って、二つ、自分の中でキーワードを見つけて実行せんといかんかなと思っています。一つは「地元」ということなんですね。基本的には、郷土館はあるけど地元の人が入ったことがない。300円の入場料がいりますので、わざわざお金を払って入ろうと思わないということが一つありますね。</p> <p>それと、もう一つは、文化財ではあるけれども、気持ちのいい所、「景観」ということが二つ目のキーワードかなと思っています。小学校とか中学校にもっと言うて、来てもらったらいいやないかとよく言われるんですね。私は学校の教師をしていましたので、その発想というのは、学校の便利使いであり大嫌いです。学校に言うていくなら、それなりの目的を明示して言うていかないと、人が来ないから言うてきているのは間違っているなと思います。</p> <p>いろいろ思って、コミュニティーの会長とか、近所の、自分の幼なじみとか、いろいろ話をして、今度、11月3日に郷土館でイベントをするんですけど、野菜の即売会をしようとしています。これも、コミュニティーの会長とか、各地区の生産組合とか、いろんなところと話をして、農家でいったら十軒から十何軒ぐらいが協力してくれることになってはいますが、とにかく、いろんな形で、コミュニティーが協力してくれました。地区の運動会がありまして、その場で郷土館イベントの紹介を放送してくれるとか、それから地区の運動会の時にピラをまかせてくれるとか、地区の新聞に載せてくれるとか、いろいろな協力を得ました。その中で、東谷小</p>

	<p>学校の方から依頼がありまして、野菜を売るときに、子どもたちが作ったもち米を売らせて欲しいという、子どもたちがそこに行って売りたいという依頼がありまして、どうするんですかと伺ったら、学校で作っているもち米を餅つきに使うけど、大量に残るんで、それをその場で売って、売上を東北の震災の義援金に充てたいというようなことで、それは良いことだ、是非、売って欲しいということになり、一緒にやることになっています。これを、広報の方に取材に来て欲しいと連絡して、広報が取材に行かせてもらうと言ってますので、出来るだけそういうことは広報していくことで上手くいけるかなと思います。</p> <p>もう一つは、あそこに平賀邸という洋館があるんですけど、昔の写真を見ると平賀邸はバラの花が植わっていて、そういった「景観」があるということで、バラに囲まれた平賀邸という景観を創っていく、それも、出来たら、バラは非常に難しいので、バラづくりを支えてくれるボランティアを募集して、それも広報に載せていきながら、このボランティアで国の登録文化財の周りに、昔にあったようなバラが植わるようになりましたということがアピールできれば、きっと注目度も増してくるかな。それを維持管理していくのは、なかなか大変なんですけども、そういうのをボランティアでお願いしてやっていければなど、この前、伊丹のバラ公園に行つて、そこの管理者の方と話をして、どうなのかというと、一番心配していたのは、花水木を郷土館に植えても全部枯れていくんですね。下にカラミというのがあってどんどん枯れていくんですね。バラが育つのかどうかということが心配だったんで、ちょっとそれも相談して話を聞いたんですけど、40cmの表土があればバラは育つということを聞いたので、バラは育つかかなと思っています。そういうことでアピールできればなということを考えています。</p> <p>ただ、それだけでは、なかなか上手くいかないとは思いますが。いま、半年やって、7月、8月、9月の入館者がたいへん少ないので、この時期をどうするという問題も、時期的な問題があると思っています。考えられることはやってみたいなと思っています。</p>
<p>議長</p>	<p>着任されて、違った角度から見られたお話がありましたけど、 初歩的な質問なんですけど、例えば、そういうイベントをされた時の入場料、あるいは野菜を売ったりする時、入場料との関係は、どういう趣旨になってくるんでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>郷土館との共催事業であれば入場料を減免できる条例の規定がありますので、大きいイベントについては郷土館と何々ライオンズクラブとかとで共催して入場料を減免しております。ただ、お茶会とか、そういうところについてされるときには入場料はいただいております。</p>
<p>議長</p>	<p>館長さんが非常に前向きにアイデアを出していただき、我々の方からも前回、だいが出しておりますけど、各委員さんの方から、ご質問などはご</p>

	<p>ございませんか。</p>
B委員	<p>300円の入館料で、年間、どれぐらいの歳入になっております。</p>
事務局	<p>昨年度で約60万円です。</p>
B委員	<p>支出はどれくらいですか。</p>
事務局	<p>支出は、主に人件費とかで。文化財資料館、郷土館、歴史民俗資料館の三館全部で、約3400万円程度です。</p>
B委員	<p>その内、60万円が歳入で入りますということですね。</p>
事務局	<p>ただ、イベント料とか、講師謝礼とかはほとんど使っておりません。ライオンズやったらライオンズさんの。</p>
B委員	<p>ああ、そうかそうか。難しとこなんやな。 やっぱり、市はあの建物を維持していかないかんし、市民にも利用してもらわないかんねんから、もっとPRが、やはりいりますね。 館長がおっしゃってるように、PR、学校云々の話もおっしゃっているんですけど、それはそれとして、結局、PR、特に若い世代に対してPRして、どんどん見てもらうことによって、次の世代に回っていくというような形をとらんことには、我々年寄りだけに来てもらってもそれ以上続かないから。若い人たちに活用を図ってもらうという部分を前提にしてPRしていかないかんと思いますね。それと、施設自体が分かりにくい所にあるから、やはり、初めて行っても、何かの目標でそこに辿り着けるというようなシステムを考えていかないかんかなと思います。</p>
E委員	<p>この間の23日に、郷土館でお世話になって、他市の方も大勢お茶会に来ていただいたんですが。分かる人は、素晴らしい建物で、こんな所でお茶会してもらったら、ほんと感激やというわけです。あの窓のガラス戸のガラスたるや明治・大正にかけてのガラスやないかと。あんなもんおまへんで。よう、こんな所でしてもらえんんですねとって、ものすごく喜んで帰って行かれるんです。分かる人は、そういうふうにして分かるんですけど。そういう興味がある人となない人があるんですね。折角、そんなにいいガラスでも、見ていない方も大勢おられるわけで、そのへんが、ちょっと難しいところなんかなと思います。難しいなら難しいで、そういう建物やというのをもっと知ってもらわないかんのですね。そのへんが、やっぱり大事なのかなという気がいたします。</p>
A委員	<p>いま、館長さんのお話を伺って、すごいなと思って、一つ思いついたことがあるんですけど。そういうイベントの時に無料にしないで入館料はい</p>

	<p>ただくことは出来ないのかなというのが一つと、もう一つは、伊丹市からのバラの寄付をという話なんですけど、市民の方に愛着を持っていただくために、その苗を買って、その管理するようなことを、みんなオーナーになってもらって、そうしたら維持費がでるかなとかね、そういうのをやってらしゃるところも結構あると思いますので、そういうものも一つかなと思っています。</p> <p>そして、あそこは、ほんとにいい館で、個人的なことを申し上げて恐縮ですが、私は非常にまち歩きが好きで、かなりの所、伝統的街並み保存地区みたいな所を回るんですけど、その中でも、あれだけの建物、例えば、ガラス一つ、床板一枚とってもすごい、素晴らしい所だと思います。それは、私もそれを見たりするんですけど、その一つの建物、立派な建物があるから見るというのではなくて、一つのまち、歩いて2～300mで終わる小さいまちであっても、その景観とか、そういう、何か、そのへんの魅力で見ているという所もあって、その中で、館にも、一つ二つと順番に入っていくとか、そういうこともあります。その中に、当然、途中で食事できる所があったりとか、人と触れ合える所があったりします。</p> <p>前回も申しあげましたけど、地域の中でそういう繋がり、線で繋がれるような形のものが、地域の人と一緒に考えられたらいいかなと、改めて感じました。是非、是非、頑張ってください。</p>
議長	<p>ありがとうございます。他の委員さんの方で。</p>
I委員	<p>私も同じですけど。私は能勢電を乗ると、何と駅名が綺麗なんだろうというも思うんです。あそこだったら山下駅で降りて、そこから歩いて郷土館まで行ってという行程が、全部いい街並みになるというんですか、景観、それこそ、そこまでの景観がよくなると、能勢電に乗って、遠くから参加してみようという方も生まれてきてくれると嬉しいなというのと。あの駅名は、何か、歴史的なものがあるのかなというものを私は感じるんですね。もし、そういうものがあるなら、こういうものですという宣伝するものがあるなら、興味をもって移動してみたい、そのまちを見てみたいというのも生まれてくるのではないのかなと思います。それを通じて郷土館とか、他の地域へも足を運んでみようという気にもなるっていうのかなと思いました。</p>
議長	<p>ありがとうございました。G委員さん、いかがでしょうか。</p>
G委員	<p>昨年度、校長会が郷土館の方で行われたとき、ある校長先生が、このガラスは値打ちがあると言われてまして、そういえば趣が違うなという感じで見ていました。郷土館に足を運んでみるとそういう値打ちの良さというのが分かると思います。パンフレットの的なものはあるんだろうと思うんですけども、そういう良さを広く知ってもらえるように、何か、目につきやすいようにしていくのも大事ではないかなと思います。いろいろ宣伝さ</p>

議長

れているのは、よく分かりました。朝の連続ドラマで放映されてまして、私も、どの場面が映っているのかなと思って見たんですけども、ああい
う煮炊きをする場面というのは、本当に、やっぱりスタジオで作っている
部分とはちょっと違うなという感じがして、あのへんも、川西市とちょろ
っと出ているぐらいで、川西の郷土館というものが使われているというこ
とも、なかなか分からない人が多いのではないかと思ったりします。大き
なテレビ局ですから、細かいところまでは出されないと思うんですけど
も、そのへんもアピール出来たらなと思います。私も、学校では、これは
郷土館が使われているということは、職員の方にも話をすると、早速、土
曜日に連続でやりますので、あれを見ておこうという人もいました。

何か、ミニコンサートみたいなことを計画されたりして、いろいろ動き
はあるなというようなことは感じてますので、だんだん広がっていくんじ
ゃないかなと期待は持っております。

ありがとうございます。

いま、それぞれの委員さんのお話がありましたように、非常に関心のある
人と関心のない人と、それぞれ別れるし、市民のニーズも、結構多様で
ございますけど、ただ、この会議で、ずっと論じてきた部分で、最初の部
長の話にあったように、大きな目標の中で地域を愛する、あるいは最後は
郷土を愛すると。教育長とお話をしてもその話が出てくるから、となれ
ば、なら、具体的に、郷土を愛する、国を愛する、よく分かるんだけど、
郷土を愛するということは具体的にどういうことなんやということを煮詰
めた論議をしていかないといかんと、個人的には思うんですね。特に、社
会教育、文化財、郷土館も含めてなんですけど、どのまちに住んでても、
自分の住んでいるまちは、やっぱり自慢もしたいし、誇りに思っているん
です。それは、よく考えたら、自分の地元を愛する、最終的には人のつな
がりの部分になってくるんですけど。ところが、先程、お金に絡んだ話が
出ましたように、お金サイドの部分から見ていってしまったら、何で、こ
んなところに大きな予算を付けないとあかんのかというように、俗に、文
化的な捉え方、言葉では大事なんだけど、具体的には、あまり文句を言う
人もないし、お金をかけてもあまり収入もないのなら、民間の第三者機関
の方にというような発想に、徐々になっていく風潮が目に見えている。そ
の時に、一番力が弱いといいますが、これは市民の理解やら、協力やら、
認識が基盤になればあかんというように、やっぱり思うんですね。郷土
館のお金のことだけいわれてみたら、収入面からある程度見ていかないと
元が崩れてしまいますので、そういう発想になってしまったら、そこを、
やっぱり、我々が情報発信を一生懸命していかないといけない部分もあ
りますし、具体的に、それに関わる予算が現実になんのかと、関わる人
材、リーダーが補充されて、職員定数の確保。その体制ですね、行政の体
制、市民の体制、これもやっぱり考えていかないと市民として応援部隊に
なっていないとあかん。そのためには、中間支援組織のボランティア、
地域のエネルギーの部分のいかに活用するかというようなことを提言して

	<p>いかなければいけないんじゃないかなというような感じを思うんですけど。</p> <p>いま、館長さんのアイデア、苦惱、壁はまだまだあるかと思うんですけど、是非、そういうのが実現できるような状況にもっていかなければ、個人的には、郷土館が出来た前後には、逆の立場にありましたんですが、下財からあそこに入る道を一步通行になりそうだということで、あれを何とか阻止しないことには、郷土館に来にくくなると、大分論議をされたんですね。裏の城山も絡めての部分で構想あったんですけど。最後は、予算がものすごくかかりますので大変だという、そのつけが今でも、乗用車で行っても迷ってしまって、駐車場に辿り着くのが大変だという部分があるんですけど、そのためには、やはり先見の明をもちながら、逆に、どこかで、思い切った施策を是非お願いしたいと思うんですけど。</p> <p>他に、ございませんでしょうか。</p>
E 委員	<p>山下駅で降りて、はじめての人が郷土館に行けるかということです。それを、ぜひ、やってもらわんと、迷ったという人がありましたから、この間のお茶会の時にも。</p>
事務局	<p>実際に聞いているんですけども、設置された当初には、迷わずに行けるように、電柱ですかね、後で聞いたら、付いているんです。それは、よく知ったものは付いているのが分かるんですけども、はじめての方なら、ちょっと見にくいというか、上を向いて歩きませんから、そういうところがあるかなと。一応、設置されたときは整備済みとなっているんで、また新たに予算化して、それも作っていく必要があるんですけど。郷土館だけでは、ちょっと、他に、もうちょっといろんなことがあれば一緒にいけるんですけど。</p>
B 委員	<p>僕も、よその市も車でよく通るけど、どこの市に行っても公共施設の案内、例えば、小学校、中学校、高等学校とかね、主要道路の所にこういう表示はしてあります。はじめて行ったものでも迷わずに目的地に着くという形をとってあるから、そのへんを市全体で、どこにどういうふうなものをすれば用を足すかということ、やはり、広い意味で解釈しなければ、そのエリアだけを考えずに全体を考えて、どのようなものを、どのような所に表示したら効果があるのかなということも考えていただきたいなと思います。</p>
事務局	<p>もう一点、国道の拡幅の時に、ちゃんと交差点が出来るときには大きな看板という計画もあったようですが、価格的には予算が300万ほどかかるようで、なかなか理解が得られなかったという経過はございます。</p>
議長	<p>具体的に各委員さんからアイデアも出ておりますし、郷土館のPR、思うことはみな同じだと思うんですけど、やはり思い切ってやっていかない</p>

	<p>と、先日の全国大会の分科会の市なんかでも、文化施設なんですけど、やはり徹底的にやりますね。やっぱり、お金をかけてます。入場者をいかに増やしていくか。あるいは県の大きな大会があっても市長名で入場券を招待券という形で参加者に配るんです。そして、大会の中でも話をされる。その150円か、200円ぐらいの入場料の部分でも、そんな形で行政の方も一生懸命考えておられると思いますけど。</p> <p>そうしますと、委員の皆様方もいろいろご意見等はあるかと思いますが。今日の論議は、郷土館を中心としたお話でございました。それで、テーマに沿った形で、来月には、一応まとめの方に入って、教育委員の皆様方との意見交換が1月、そして2月にはまとめていきたいと思います。</p> <p>それで、今度は的を絞らなければいけませんので、今までの論議の議事録を精査した形で、一応、メモという形で文書にて、次回に提言といいますが、的を絞った形のメモをお渡しして、それを元に、委員の皆様方と論議を進めていくという形にしたいと思いますがいかがでしょうか。</p> <p>議事録で、今までの発言をまとめて、学校、地域、家庭をつなぐ社会教育のあり方で、過去5回分ですか、議事録から抽出した形の中で、まとめのたたき台を出さしていただいて、それを元に論議をしたいという形でさせていただきますよろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">(了 承)</p> <p>議長 そろそろ2年のまとめをどうしたらいいものかなということで、普通は事務局からお願いしてるんですけど、我々委員の力でできる部分だけはやっぱりこなしていきたいと。教育委員会、あるいは市長部局の方の委員も含めて、参考にさせていただけたらということでまとめに入らせていただきたいと思います。</p> <p> 以上で、議題の部分を終わらせていただいて、その他に入らせていただきます。</p> <p style="text-align: center;">事務局から、11月15日に兵庫県民会館で開催される 「兵庫県社会教育研究大会」の出欠について確認された</p> <p>議長 是非、ご参加いただきたいと思います。今度、阪神北の方は三田市が発表して、指導助言は伊丹の方がされます。それから、記録は宝塚というように、各地区ごとに役割が別れてまして、川西は総合司会があたっております。是非、応援の方、よろしくお願いいたします。</p> <p>事務局 それともう一点、今後の会議予定でございますが、A4の一枚ものでお手元に配付しております。</p> <p> まず、社会教育委員の会につきましては、次回の11月と来年の1月、2月の3回を予定しております。また、1月の19日には教育委員さんとの意見交換会も予定しております。</p>
--	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>議長</p>	<p>次に、阪神北及び兵庫県協議会等についてであります。11月15日に、先程確認させていただきました県の研究大会がございます。来年の2月14日には阪神北の第2回の研修会が予定されております。それと、来年度の話になるんですが、近畿地区の研究大会が9月7日に兵庫県で開催されるということで、同時に、兵庫県の研究大会も開催されるという予定でございます。また、全国研究大会につきましては10月24日から26日まで、山梨県甲府市を中心に開催されるということでございます。</p> <p>現時点で分かっている予定を掲載しておりますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>他に、ございませんでしょうか。</p> <p>(発言なし)</p>
<p>議長</p>	<p>次回の社会教育委員の会でございますけど、11月の第4水曜日が祝日にあたりますので、次回の委員の会は、11月24日の木曜日、10時から、この202会議室で行いたいと思います。12月は飛んでございませぬ。1月は教育委員との意見交換、そして2月22日が最終という形で、一応、2年の任期が終わるという形になろうかと思っております。</p> <p>これをもちまして、第5回の社会教育委員の会を閉会いたします。</p> <p>ありがとございました。</p>